

倉

四年

画数 10
筆順 八人 倉
オン ソウ
クン くら

成り立ち



むかし、租税として役所におさめられた米を入れておくための「お倉」の形を表した字です。

米にかぎらず、「物を入れておくためのたてもの」のことをいいます。それで、米を入れておくたてものを、今では「穀倉（米倉）」といいます。

また、「物を入れておくための『場所』」の意味にも使います。【例船倉（船倉）】。

〔穀物を収納することを「收藏」と言う。蔵は、作物を収納する意味の語である。故に、倉の音は「蔵」である。また、「蔵」は「倉」の意味にも使われ、「くら」の訓がある。〕

使い方

▽むかしは、大きな家には、よくお倉があったものです。お倉は壁が厚く、かんじょうにできていて、大切な物をしまうために作られていました。また、悪いことをした子供などは、罰としてお倉に入れられたりしたものでした。お倉は色々な役目をしていましたが、今では見かけることも本当に少なくなりました。

熟語例

▽穀倉（穀物を入れておく倉。米倉。また、穀物をたくさん産出する地方のことを、たとえて呼ぶことがありますが。「ウクライナはソ連の穀倉地帯である」などというふうには、つかいません。）

▽倉庫（物を入れておく場所。もともとは「倉」は米倉。「庫」は車庫のことを意味しましたが、今では米や車に関係なく、物をいれておく所のことです。）

▽船倉（「ふなぐら」とも読みます。船の甲板の下にある、貨物を積み込んでおく所のことです。）

▽倉出し（倉庫にあずけておいた貨物を出すこと。この反対は「倉入れ」です。それぞれ、「蔵出し」「蔵入れ」とも書きます。）

使い方

▽近所の家に空き巣ねらいが入ったという噂を聞きました。窓ガラスがきれいに切られていて、空き巣ねらいはそこから入ったのだそうです。近所のおばさんたちが「こわいわねえ」と話し合っていました。

▽おにいさんと一緒に庭の木の枝に巣箱をかけました。庭にやって来る小鳥たちのためにつけたのです。早く巣箱に入って巣を作るといいな、と思います。ひなが生まれたら、どんなに楽しいでしょう。

熟語例

▽巣箱（鳥が巣を作りやすいようにと、人が作って木の枝などにかけておく箱）

▽巣立ち（ひなが成長して巣を離れること。また、鳥になぞらえて、人間の子供が一人前になって社会に出ること。三人の子供たちが、めいめい巣立って行った後、残った両親は、ほっと一息つきました」など）

▽古巣（以前、住み家としていた所）

▽巣窟（悪者などが集まって隠れ住んでいる所）

▽空き巣（るすの家。「空き巣ねらい」というのは、るすの家をねらって入るどろぼうのことです。）

巢

四年

画数 11
筆順 当 巢
オン ソウ
クン す

成り立ち



木の上の鳥の巢の中に、ひな鳥が三羽いるすがたを表した字です。

「鳥の『す』」のことを表した字です。【例巣箱、巢立ち。「人のすむ所」という意味にも使われます。【例古巢にま

いもどる、悪人の巣窟、空き巣。また、「病巢（病気の元になっている所）」というよう

な使い方もあります。